

第53回 家畜人工授精優良技術発表全国大会 開催要領

1 目的

家畜人工授精技術の急速な発展と畜産経営形態・飼養管理技術等の多様化に伴い、家畜人工授精技術者に高度な知識と技術の習得が要求される中で、近年、牛の繁殖成績に低下傾向が認められることに鑑み、「牛の繁殖成績を向上させよう！」を大会テーマとして全国の家畜人工授精技術者を一堂に会し、日常業務を通して得た貴重な知見や調査研究結果の発表と意見交換を行い、繁殖成績の改善に資するとともに優秀繁殖技術の普及啓発を図ることを目的とする。

2 開催方法

対面での開催とする（来場者数：約400名を見込む）。
ただし、不可抗力により対面開催が困難となった場合には、オンライン開催とする。

3 開催日時・場所

令和7年2月14日（金） 9：30～16：30
日経ホール（東京都千代田区大手町1丁目3-7）

4 優良技術発表

発表者数 8名

5 特別講演

「長期不受胎牛の要因とその対策を考える」
東京農業大学農学部 教授 白砂 孔明

6 西川賞の選定

選考委員会は令和7年2月14日（金）に開催し、優秀発表者から西川賞受賞者を選定する。

7 その他

- 体調の確認：体調が悪いときは、参加を見合わせてください。
- マスクの着用：マスクなどの着用をお願いする場合があります。

I 第53回家畜人工授精優良技術発表全国大会発表者一覧

番号	発 表 演 題	発 表 者	道府県名
1	一酪農場における育成牛の繁殖障害発生要因について	佐藤真由美	千葉県
2	人工授精間隔から見た発情周期が示す乳牛の繁殖現場の課題	笠原真優	北海道
3	牛凍結精液の同時複数融解が精子性状および受胎性におよぼす影響	榎倉茂朗	北海道
4	発情後の出血を起点とした 0vsynch 処置が受胎率に及ぼす影響	西井亮太	北海道
5	ICT を活用した家畜人工授精所の取り組みと運営	福田 勇	島根県
6	繁殖成績向上への取り組みにおける ICT 活用及び診療獣医師との連携	小柳詩織	長崎県
7	超音波診断装置を活用した 2 卵移植の取り組み	川原慎之介	鹿児島県
8	受精卵移植時のカラードプラによる黄体評価と受胎率向上との関連について	古姓 保	福島県

発表順は未定

II 特別講演

長期不受胎牛の要因とその対策を考える

白砂 孔明 先生
(東京農業大学農学部)